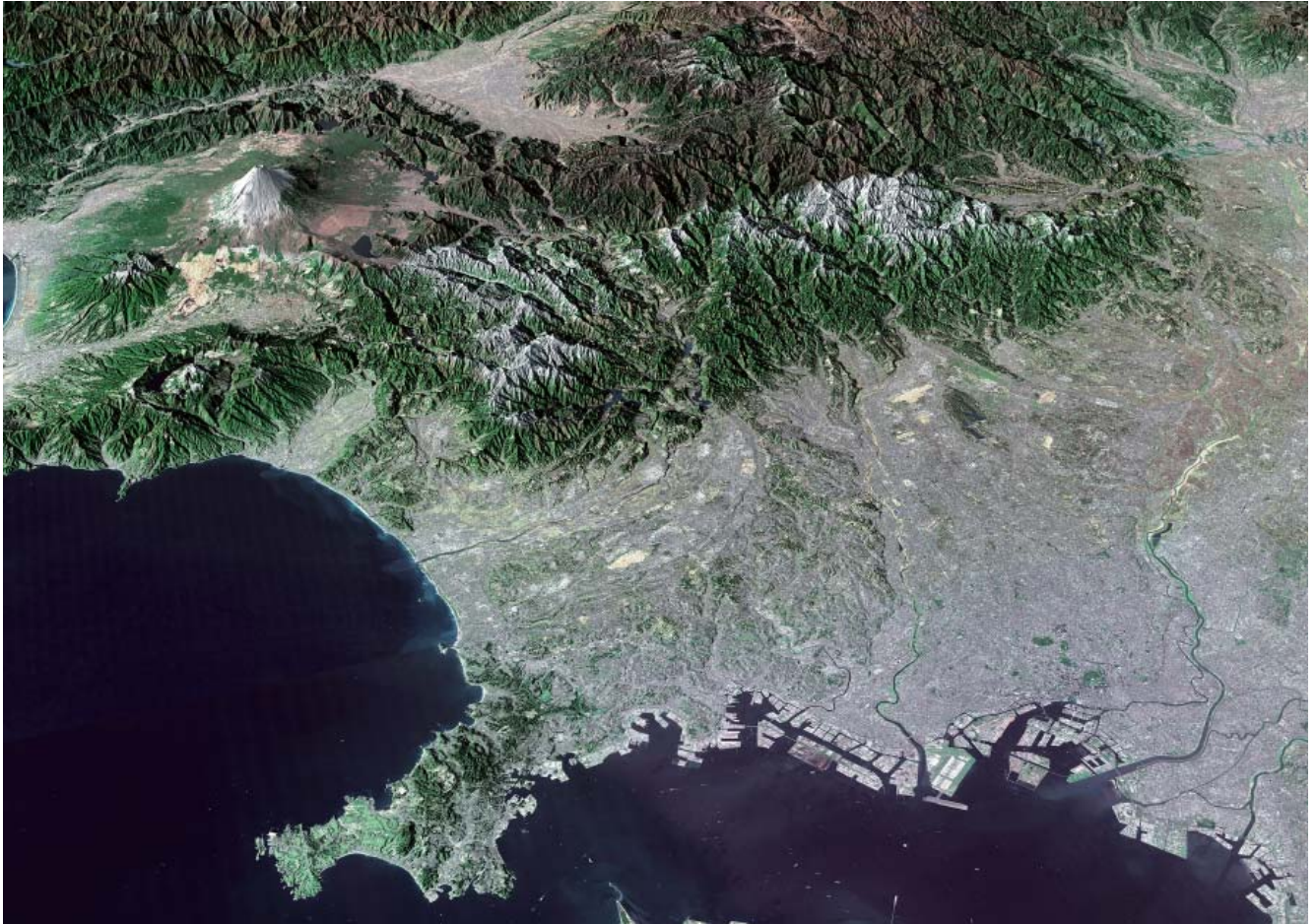


自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 24, No. 1 神奈川県立生命の星・地球博物館 Mar. 2018



宇宙から見た東京～神奈川

ちゅうかんず
宙瞰図
(地球観測衛星画像利用鳥瞰図)

にいだ しゅういち
新井田 秀一(学芸員)



この図は首都圏を中心に描いた
ちゅうかんず
鳥瞰図で、生命の星・地球博物館から
東南東方向に140 km離れた海上(千葉県勝浦沖30 km)の上空70 kmより、40度
斜め下に俯瞰したものです。図の上
ふかん
半分には関東山地から丹沢山地、箱根
火山、富士山などの山々があり、最上部
には赤石山脈(南アルプス)や甲府盆地
も見えています。また、下半分を占める灰
色が目立つエリアは、東京から神奈川
にかけての平野や丘陵地帯です。多く
は市街地や工業地域として開発されて
いますが、台地の緑や丘陵のような傾斜

地には緑が残っています。

空撮(飛行機などから撮影した写真)のように見えるかもしれませんが、アメリカの地球観測衛星Terraに搭載されている国産の「ASTER VNIR」センサが観測した画像に、標高データ(基盤地図情報10 mメッシュDEM)によって地形の立体感を表現する演算を行ったCG(コンピュータグラフィクス)です。宇宙から見ているかのように俯瞰し、さらに宇宙を飛んでいる地球観測衛星の画像をもとに作っていることから「宙瞰図」と呼んでいます。